

Shibboleth 導入に視る技術・体制・姿勢
— Opengate だけではない佐賀大学 —

佐賀大学

渡辺健次

watanabe@is.saga-u.ac.jp

佐賀大学の概要

- 5学部構成の国立大学
 - 文化教育学部
 - 経済学部
 - 理工学部
 - 農学部
 - 医学部
- 構成員数(H22.5)
 - 学生7,399人
 - 教職員1,787人



佐賀大学公式マスコットキャラクター「カッチーくん」
<http://www.saga-u.ac.jp/koho/kachi1/newpage2.html>
<http://www.youtube.com/watch?v=FXvFFa-tnbk>

佐賀大学におけるシングルサインオンに関する取り組み

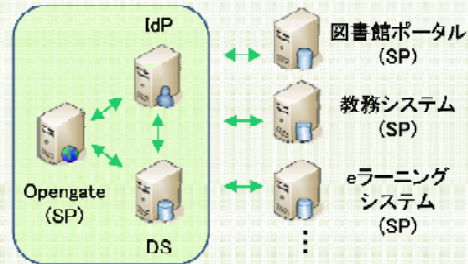
シングルサインオン対応Opengate

- Opengateとは、佐賀大学において開発・運用を行っているネットワーク利用者認証システムです。持ち込みPCや公開端末のネットワーク利用認証を行い、ネットワークのサービスを利用者に提供します。佐賀大学の構成員約一万人の教職員や学生の他に、学外者の一時利用も可能です。
- このOpengateを、Shibbolethによるシングルサインオン認証に対応させ、平成22年3月より全学で運用を開始しました。
- 各種情報システムもシングルサインオン(Shibboleth)に対応させたことで、再認証なしで利用できるようになりました(図1)。

一度のOpengateの認証で
いろいろなサービスを利用可能



図1: Opengateと連携したシングルサインオンによるサービス提供



- 新たなOpengateは、シングルサインオン認証後にShibbolethより得られる利用者の属性情報をもとにして、任意のWebページを表示することが可能です。
- このWebページを、学内で運用する情報システムのポータルサイトとすることで、各情報システムの利用が可能になります。



連絡先: opengate@ml.cc.saga-u.ac.jp

シングルサインオン対応サービス

- 佐賀大学では、連携する情報システムの中で、現在、以下の情報システムがシングルサインオン認証で利用可能です。
 - ◆ 総合情報基盤センターポータル(図2)
 - ◆ 図書館ポータル / 図書館蔵書検索
 - ◆ e-Learning システム
 - ◆ 教職員グループウェア
 - ◆ 利用者情報確認・変更サービス(図3)
 - ◆ 研究業績データベース / 評価基礎情報データシステム
 - ◆ 教務システム / 教務ポータル(図4)



図2: 基盤センターポータル



図3: 利用者情報確認
変更サービス

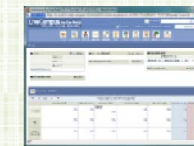


図4: 教務ポータル

「学認(Gakunin)」との連携

- 佐賀大学では、学術認証フェデレーション「学認」に参加することで、電子ジャーナルであるSpringerや、CiNiiなどの学外サービスを、シングルサインオンで利用することが可能となっています。
- Opengateも「学認」に参加している組織の方であれば、自大学のIdPで認証することで、佐賀大学でのインターネットを利用することが可能です。佐賀大学にお越しの際は、是非ご利用ください。



国立大学法人 SAGA UNIVERSITY
佐賀大学



佐賀大学総合情報基盤センター

https://www.cc.saga-u.ac.jp/cnc/

Google

佐賀大学総合情報基盤センター

Norton Confidential 詐欺行為は検出されませんでした

佐賀大学総合情報基盤センター

ようこそ 渡ナベ 健次さん [学内]ログイン中です。

LOGOUT

https://schedule.admin.saga-u.ac.jp/index.asp

佐賀大学グループウェア

Norton Confidential 詐欺行為は検出されませんでした

i-WARE v2

渡ナベ 健次 様がログインしました。

ホーム 掲示板 スケジュール 設備予定管理

2010年7月21日(水) - 午後 6:32

LiveCampus Any-One Portal コミュニケーションポータルシステム

検索

渡ナベ 健次さん 前回ログイン: ログアウト

ホーム スケジュール フォーラム 連絡通知 機能連携 FAQ リンク アンケート レポート 授業カード ダウンロード

ホーム

リンク設定へ

リンク

大学リンク

授業リンク

個人リンク

授業連絡最新情報

連絡通知へ

フォーラム最新情報

フォーラムへ

図書館最新情報

提出物最新情報

授業カードへ

共通連絡等最新情報

連絡通知へ

スケジュールメニュー

今日の日付: 2010年7月21日(水)

	2010/07/19(月)	2010/07/20(火)	2010/07/21(水)	2010/07/22(木)	2010/07/23(金)	2010/07/24(土)	2010/07/25(日)
イベント	海の日						
朝							
1校時 8:50-10:20			10:00-12:00 教育組・卒研修士ゼミ				
2校時 10:30-12:00		10:40-12:10 非常勤講師(長崎県立大学)	10:00-12:00 教育組・卒研修士ゼミ	10:30-12:00 ネットワーク組・卒研ゼミ			
昼休み		10:40-12:10 非常勤講師(長崎県立大学)					
3校時					13:00-14:30 全学教育講義 情報基盤演習1(ax)		

最新ニュース一覧

緊急連絡

6/26 早朝からネットワーク障害発生(復旧3月2日「パスワード変更」ページの利用再学会用ファイルアップローダ不具合について【一般ユーザ向け・重要】新システム移行に時更新中)(1/27)

佐賀大学ネットユーザ向けセキュリティ対策

マイクロソフト Office 2000 サポート終了自動実行機能(Autorun)停止を正しく機USBメモリからのウイルス感染にご注意く

センターニュース

No.49(2010.4.1)(4/1)[テキスト版]

サイト更新情報(最新ニュース)

MAPLE 13の貸し出しを開始しました(5/2)運用委員会委員名簿を更新(5/11)センターウェブサイト外観を5月6日14時30

メニュー: 全て表示する | 全て隠す

基本情報をもる

センター概要

センターシステムの紹介

各種委員会

業務記録

https://schedule.admin.saga-u.ac.jp/ を新規タブで開く

卒研修士ゼミ

一ク組・卒研ゼミ

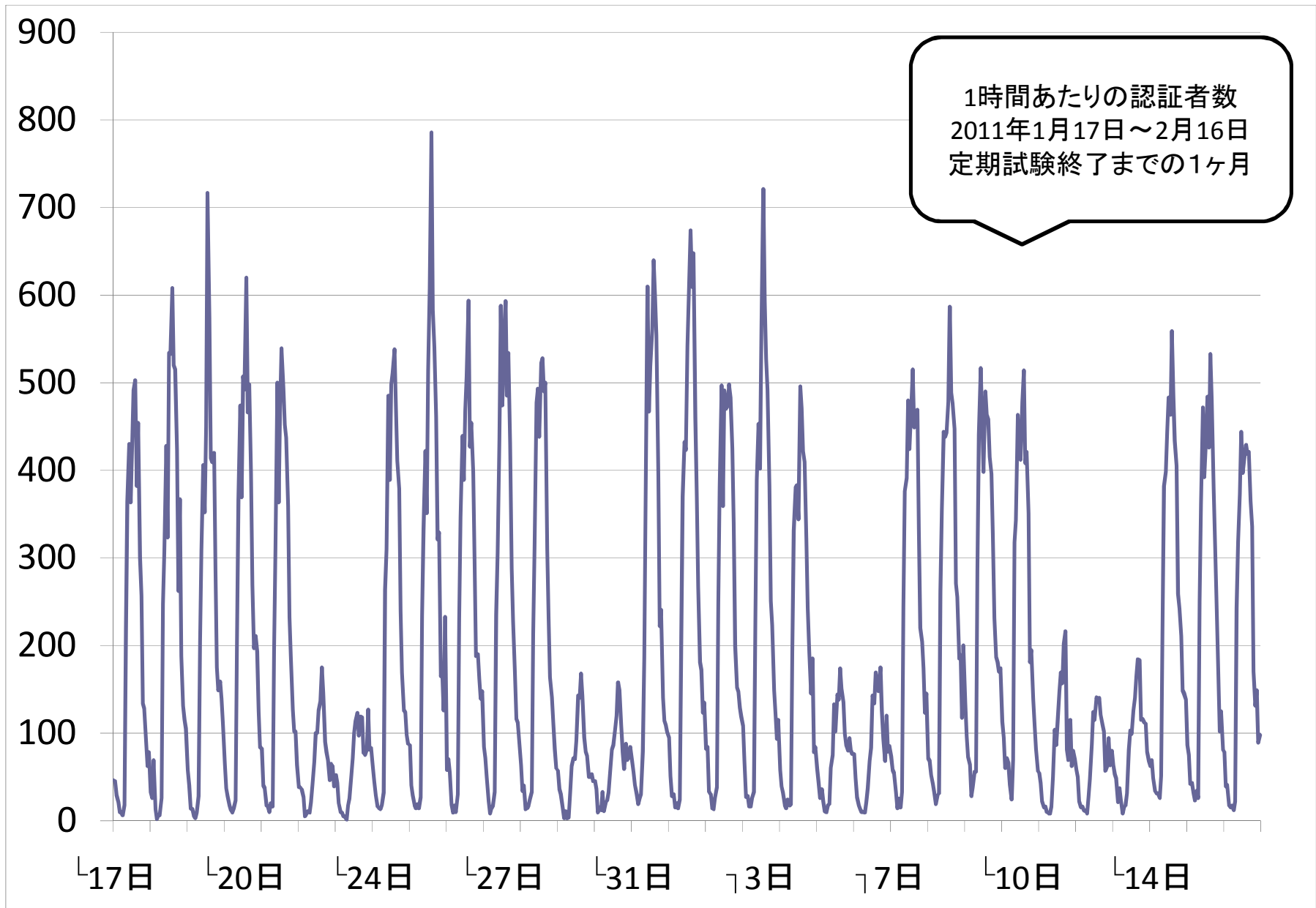
一ク組・修士ゼミ

講義

講義

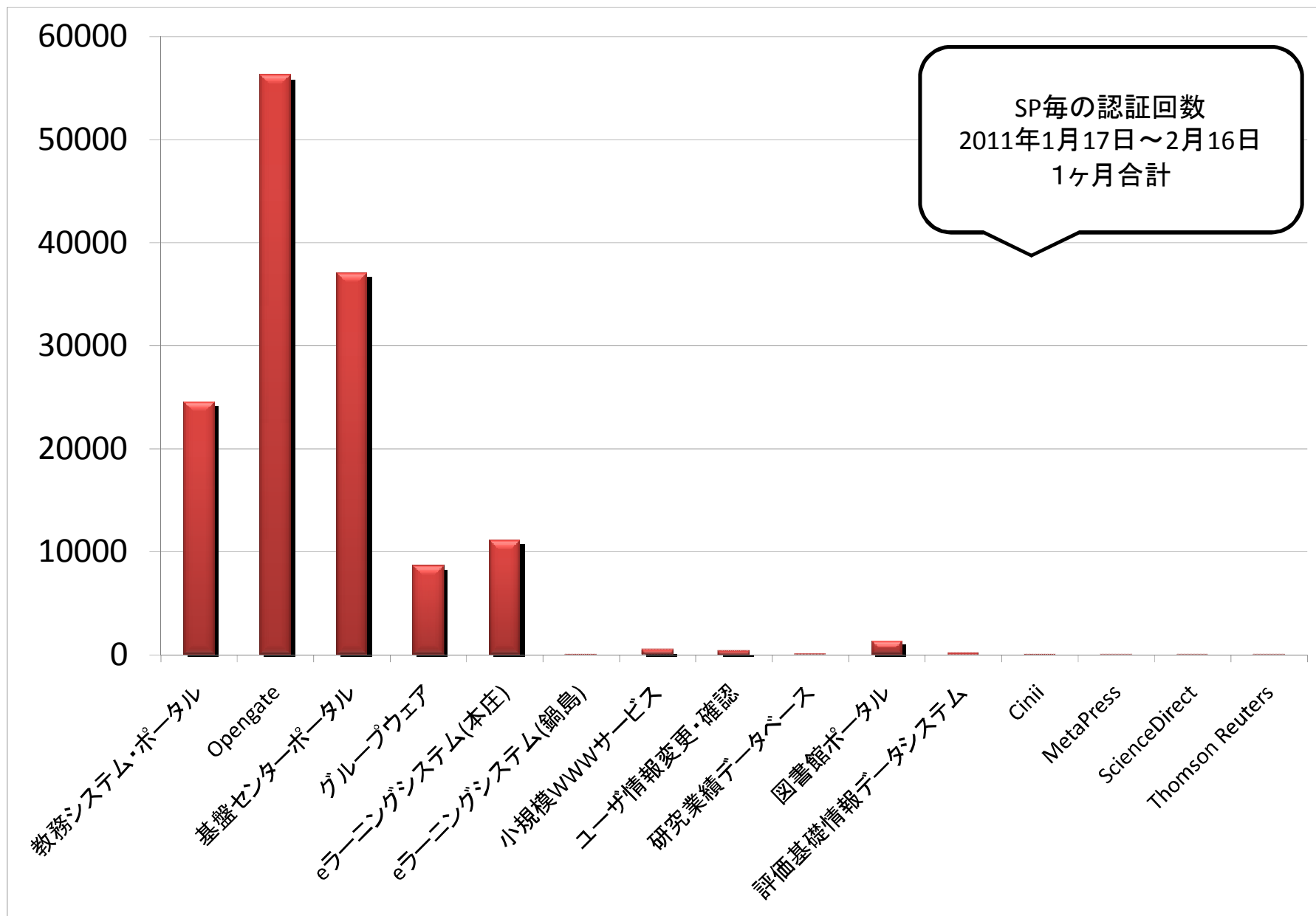
2011年3月7日

学術認証フェデレーションシンポジウム



2011年3月7日

学術認証フェデレーションシンポジウム



Shibboleth導入の経緯

- 2008年7月31日 : NII説明会参加
- 2008年9月頃 : 平成20年度 シングルサインオン実証実験に参加、IdPとSPを実験的に構築
- 2008年12月 : 2010年3月稼働開始の次期システムおよびネットワークの仕様書作成開始
- 2009年3月 : OpengateがShibboleth対応、試験運用
- 2009年6月 : 仕様書完成
- 2009年11月 : テストフェデレーション参加
- 2010年3月 : 新システムおよびネットワーク稼働開始
- 2010年3月 : 運用フェデレーション参加

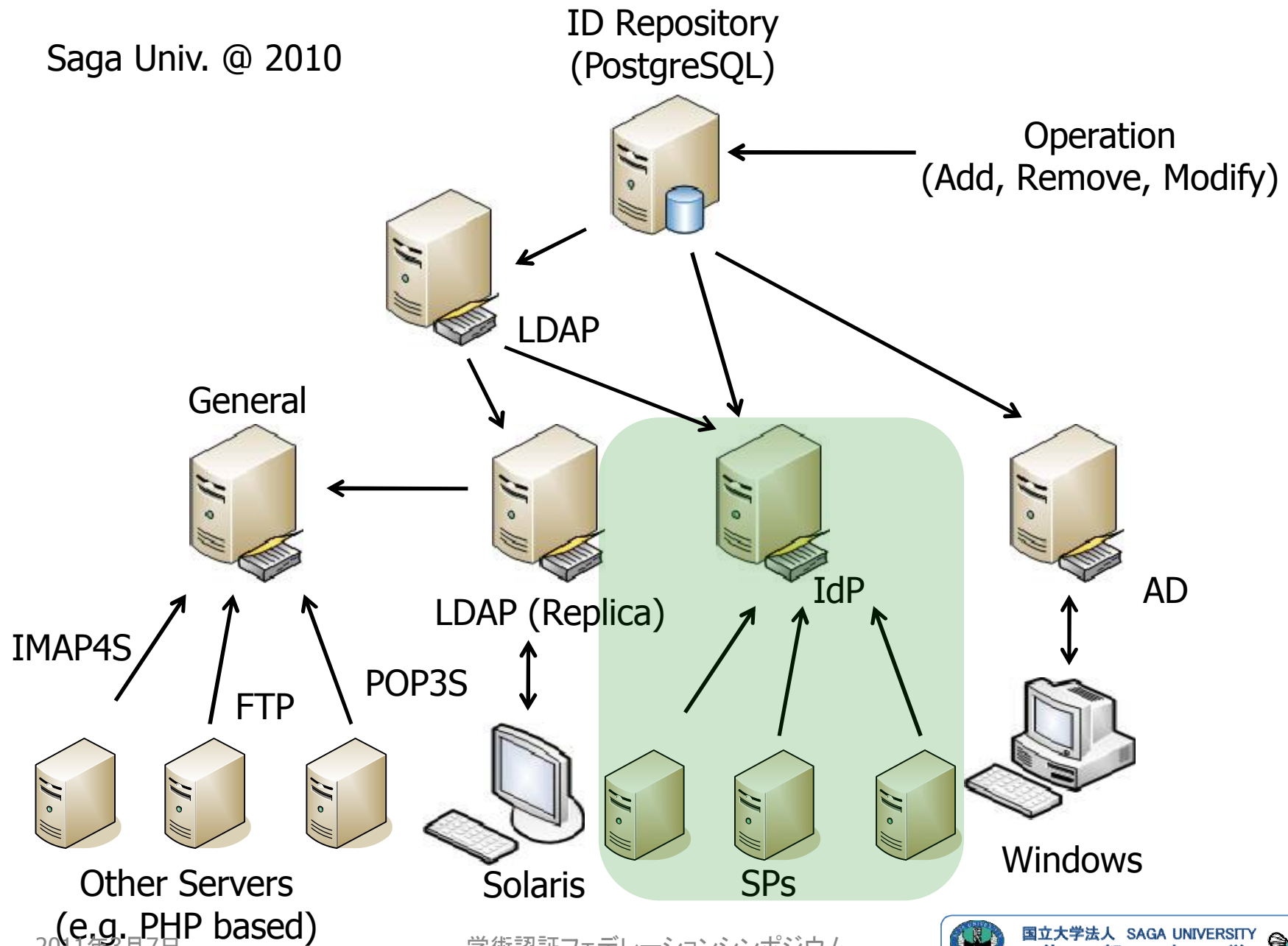
もくじ

- 技術
 - 統合認証システム、Opengate
- 体制
 - 図書館システムと教務システム
 - 情報政策委員会(当時)
- 姿勢
 - “常に新しいことをやりましょう”
 - システム開発
 - 統合認証シンポジウム
- まとめ

統合認証システム

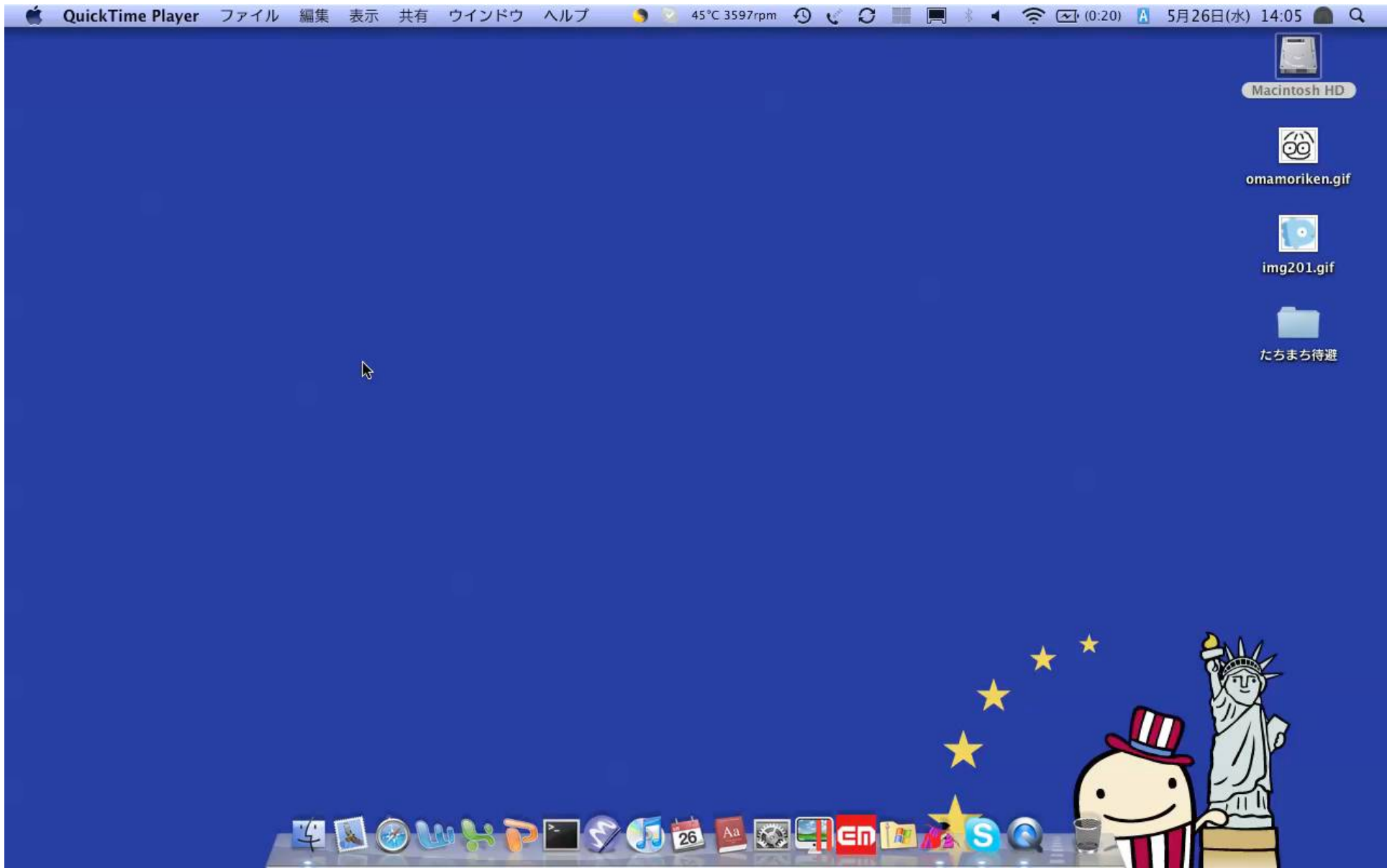
- 認証情報リポジトリ
 - User ID
 - Initial password
 - Full name
 - Affiliation
 - Title
 - Position
 - etc ...
- 認証基盤システム
 - 情報入力および修正
 - 認証サーバ
 - 情報の入力
 - 教職員の情報
 - 学生の情報
 -

Saga Univ. @ 2010



2011年3月7日

学術認証フェデレーションシンポジウム



2011年3月7日

学術認証フェデレーションシンポジウム



ネットワーク利用者認証システム Opengate

10th
Anniversary

- 利用と管理が容易で適用範囲が広い利用者認証ゲートウェイシステムの開発、渡辺義明、渡辺健次、江藤博文、只木進一、情報処理学会論文誌、Vol42、No.12、pp.2802-2809(2001.12)
- 利用者移動端末に対応した大規模ネットワークのOpengateによる構築と運用、只木進一、江藤博文、渡辺健次、渡辺義明、情報処理学会論文誌、Vol.46, No.4, pp.922-929(2005.4)
- IPv4/IPv6デュアルスタックネットワークに対応したネットワーク利用者認証システムの開発、大谷誠、江口勝彦、渡辺健次、情報処理学会論文誌、Vol.47, No.4, pp.1146-1156(2006.4)
- HTTPコネクションの監視により利用終了検知を行うネットワーク利用者認証システムの開発とその円滑な導入、大谷誠、江藤博文、渡辺健次、只木進一、渡辺義明、情報処理学会論文誌、Vol.50, No.3, pp.1032-1042(2009.3)
- シングルサインオンに対応したネットワーク利用者認証システムの開発、大谷誠、江藤博文、渡辺健次、只木進一、渡辺義明、情報処理学会論文誌、Vol. 51, No. 3, pp. 1031 – 1039 (2010.3)

もくじ

- 技術
 - 統合認証システム、Opengate
- 体制
 - 図書館システムと教務システム
 - 情報政策委員会(当時)
- 姿勢
 - “常に新しいことをやりましょう”
 - システム開発
 - 統合認証シンポジウム
- まとめ

学内のShibboleth対応システム

- ネットワーク利用者認証システムOpengate
- 教務システム、図書館ポータル、教職員グループウェア、パスワード変更(NTT データ九州)
- 総合情報基盤センターポータル
- e-Learning (Moodle、e-Learningスタジオ)

学術情報基盤システムに含まれる サブシステム

- センターシステム(演習室等)
- 教務事務システム
- 就職情報システム
- 授業料免除システム
- 奨学金システム
- 図書館システム
- 事務情報システム
- 共通基盤システム

佐賀大学学術情報基盤システム
仕様書

平成21年6月
佐賀大学

情報政策委員会(当時)

国立大学法人佐賀大学情報政策委員会規則(平成16年11月16日制定)

(設置)

第1条 国立大学法人佐賀大学(以下「本学」という。)に、国の情報化政策に対応するとともに、本学における情報化政策、情報セキュリティ、大学データベース、事務情報化等の検討を行うため、国立大学法人佐賀大学基本規則(平成16年4月1日制定)第7条の規定に基づき、国立大学法人佐賀大学情報政策委員会(以下「委員会」という。)を置く。

情報戦略本部

国立大学法人佐賀大学情報戦略本部規則
(平成22年12月22日制定)

(目的)

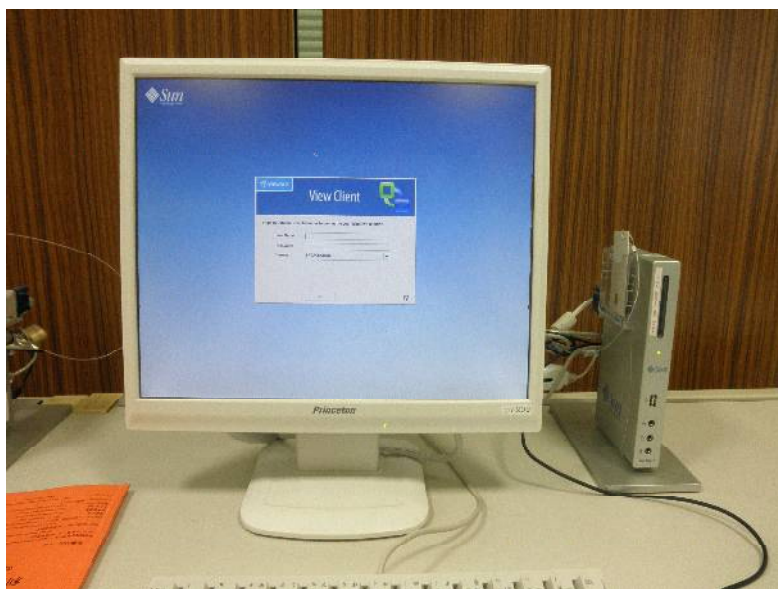
第2条 戦略本部は、本学の情報戦略の基本方針を策定することにより、本学の教育、研究、診療及び業務の高度化を図ることを目的とする。

もくじ

- 技術
 - 統合認証システム、Opengate
- 体制
 - 図書館システムと教務システム
 - 情報政策委員会(当時)
- 姿勢
 - “常に新しいことをやりましょう”
 - システム開発
 - 統合認証シンポジウム
- まとめ

“常に新しいことをやりましょう”

- 冒険好きが揃っている
- 毎回チャレンジングな仕様書



SunRayによる画面転送型シンクライアントが並ぶ演習室



目玉はいろいろあるのですが

- SunRayによる画面転送型シンクライアント
 - Windows VistaとSolarisを提供
- プリンタの廃止
 - 生協が用意した有料プリンタにUSBを挿して印刷
- CISCO Nexus、VMWareによるネットワークの仮想化
 - Opengateの仮想化
- 止まらないネットワーク
 - 発電機がつながるUPSの導入

開発したShibboleth 対応アプリケーション

- 事務連絡ボード
- 研究室ポータル
- ポートフォリオ
- ウェブメール



システム開発

- 認証が必要なページのニーズは多い
 - レポートの受付、特定の学生への連絡など
- 認証部分を作成しなくても良い
 - 面倒なところをIdPにお任せできる
- 属性情報が容易に利用できる
 - 身分や所属で処理を分けたい、など
- 他のSPとシームレスに連携できる

個人でもShibboleth認証したい

- しかし個人でSPを構築するのは敷居が高い
 - Shibboleth導入
 - Shibboleth設定
 - SSL証明書の取得
 - メタデータの交換
 - いろいろ
- 個人のページで使いたい
 - ~/public_html感覚で使えるといいな

Shibboleth認証対応個人向け WWWサービス(試験中)

- ~/wwwssoを認証付で公開
 - 別途公開設定が必要(誰でも、ではない)
 - PHP5が利用可能
- 設置したコンテンツはShibboleth認証後に表示
- 認証IdP
 - 他のSPと同じIdP

統合認証シンポジウム

佐賀大学総合情報基盤センター

http://www.cc.saga-u.ac.jp/ias/

検索: 学認シンポジウム

Norton Confidential 詐欺行為は検出されませんでした

HOME >>

第4回統合認証シンポジウム

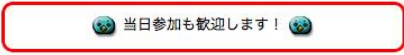
情報通信技術は、高等教育機関の教育、研究、診療、組織業務において、不可欠な基盤となっています。なかでも、組織構成員と組織構成のデータベース及びそれに基づく認証情報を提供する統合認証基盤は、もっとも重要なものとなっています。

近年では、シングルサインオン技術が成熟しました。そのため、大学内の情報システムのシームレスな連携だけでなく、「学認」を通じた大学間連携、地域でのe-learning連携などの可能性が広がり、その重要性は更にましています。

そのような重要性にも関わらず、技術的及び組織的整備の困難さから、導入に躊躇している組織も少なくありません。


佐賀大学では、2000年より認証情報の統合を進めてきました。その成果を踏まえて、2007年度より統合認証に関するシンポジウムを開催し、これまで、それぞれ全国から多数の参加者に来て頂いています。本年度も、同様にシンポジウムを企画いたしました。今回のシンポジウムでは、Shibbolethを用いたシングルサインオンを話題の中心として企画しています。

- 2007年度
- 2008年度
- 2009年度


日時	平成22年12月22日(水曜日) 13:00受付 13:30講演開始
	
	統合認証シンポジウムの参加申込へ→
	懇親会は生協かささぎ店 18:00からです。 詳しくは下の地図を参考にしてください。
場所	佐賀大学教養教育運営機構大講義室 (無線LANが使えます:SSO 対応 opengate使用) 佐賀県佐賀市本庄町1番地(本庄キャンパス) [佐賀大学へのアクセス] [東京、大阪からは、有明佐賀空港への航空便が便利です。]
対象	統合認証に関心を持つ研究者、技術者、情報システム担当者、学生
主催	佐賀大学総合情報基盤センター

地図 写真 地形 Earth

このコラムを隠す



ゲスト用おすすめリンク

 シングルサインオンでログインできます

佐大関係者は限定情報やリンクにアクセスするため、なるべくログインしてください。

カレンダー

メインセンター(本庄キャンパス)の開館案内

演習室時間割

演習室授業時間割
教育システム期末稼働状況

センター主催イベント

統合認証シンポジウム
セミナー・シンポジウム・教職員向け情報リテラシ・セキュリティ講習会のお知らせ
総合情報基盤センターランチセミナー

センター発行物

センターニュース
センター広報

2011年3月7日

学術認証フェデレーションシンポジウム

まとめ

- 技術
 - 統合認証システム、Opengate
- 体制
 - 図書館システムと教務システム
 - 情報政策委員会(当時)
- 姿勢
 - “常に新しいことをやりましょう”
 - システム開発
 - 統合認証シンポジウム

感謝



株式会社 NTTデータ九州



ほか多くの方々

2011年3月7日

学術認証フェデレーションシンポジウム



ありがとうございました



佐賀大学トピックス:熱気球「ひだまり」を新調(2011/1/12)

2011年3月7日

学術認証フェデレーションシンポジウム

